

◆ ～災害時に役に立つ情報の一部です～

私達は『家庭で出来る防災』として、【防災よこはま】を参考に勉強会をしました。

●備蓄品や非常持出品を準備していますか？

- ・災害発生直後は、食品や日用品の購入が難しくなります。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。また、すぐ取り出せるところに非常持出品を準備しておきましょう。
- ・備蓄する量の目安は最低3日分です。
- ・家族構成や生活スタイルにあわせて、食料や日用品を少し多く買い備えて、備えたものを順番に使いながら新たに買い足していく循環型備蓄(ローリングストック)という考え方もあります。

<備蓄品>

- 飲料水(1人3日分で9ℓが目安です)
- 食料品(クラッカーなど調理せずに食べられるもの、缶切りが不要な缶詰)
- トイレパック(1日あたりの平均排泄回数は5回。1人3日分で15個程度が目安です。)

<非常持出品>

- 懐中電灯・ランタン(予備電池も) □携帯ラジオ(AM・FM両方聞けるもの)
- 貴重品(現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証)
- その他(紙皿、紙コップ、救急医療品、常用薬、お薬手帳、携帯電話用充電器、ウエットティッシュ、生理用品、ビニール袋、タオル、歯磨用品、軍手、ラップ、ホイッスル…)

◆ 今年度で退任される方

山森さん、大坪さん、塚本さん

本当にご苦労様でした。

令和元年度 杉田地区消費生活推進員の会のメンバーです。 任期2年 16名

自治会・町内会名	推進員	自治会・町内会名	推進員
杉田東部町内会	原 美津子	杉田台自治会	横江 洋子 ◎
杉田町西部町内会	谷中 けいこ	杉田大谷団地自治会	八木 節子
杉田南部自治会	大石 恵津子	杉田大谷団地自治会	山森 弘美
杉の子会	藤田 雅恵	メール・ド磯子自治会	橋本 京子
杉田梅林町内会	丸山 宇伊子	メール・ド磯子自治会	岩崎 節子
杉田梅林町内会	一色 啓子	坪呑第三街区自治会	濱本 典子
杉田長作町内会	齋藤 久美子	文霞台自治会	大坪 孝一郎
杉田台自治会	中田 綾子 ○	弥生が丘自治会	塚本 隆

メンバーは殆どが町内会長推薦ですが、随時応募もできます。ご希望の方は是非ご連絡ください。

◎は正代表 ○は副代表

『いそご消費生活だより』 杉田地区版

編集： 杉田地区消費生活推進員の会  
 連絡先： 磯子区役所地域振興課(事務局)  
 〒 235-0016 神奈川県横浜市磯子区磯子3-5-1  
 TEL: 045-750-2397 FAX: 045-750-2534

いそご消費生活だより

# 杉田

地区版

令和2年3月発行

編集発行 杉田地区消費生活推進員の会

…… 消費生活推進員の会とは ……

後期高齢者の時代背景のなかで消費生活推進員は、市民の安全で快適な消費生活の推進を図っています。衣食住から環境問題までと活動の幅は広く、杉田地区では16名の推進員が横浜市長から委託を受けて活動しています。私達のモットーは、『楽しくて為になる活動』です。ほぼ毎月集まり消費生活に関する知識を学習し「考える消費者」「賢い消費生活」の実践として啓蒙活動講座の開催や情報紙の発行などを通じて、地域に広げていく活動を行っています。

12月  
『悪質商法』被害未然防止講座  
杉田地区センター

7月  
『食肉市場センター』施設見学

9月  
・ジャムステック(海洋研究開発機構)  
施設見学  
・『悪質商法』被害未然防止講座  
大谷団地自治会館

1月  
『家庭でできる防災』  
地震・台風・豪雨いざという時に役立つ  
防災の知識勉強会

3月  
地区版いそご消費生活だより  
「杉田」発行

2月  
電源開発(株)磯子火力発電所  
ISOGOエネルギープラザ施設見学

11月  
子育て世代への  
消費生活出前講座  
親と子のつどいの広場  
『夢ひろば』

上記は杉田地区消費生活推進員の会主催の活動です。

《杉田地区は杉田梅発祥の地です》

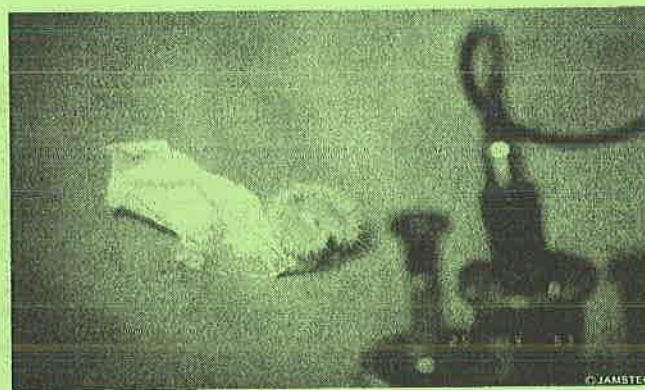


# 得 ト ク 生 活 フ ェ ス タ

## ◆ パネル展示 深海デブリ(ごみ)とマイクロプラスチック問題

私達消費生活推進員の会は9月11日(水) 地元の施設、ジャムステック(海洋開発研究機構)を見学しました。ペットボトルで埋め尽くされた砂浜や、プラスチックが絡まったり、飲みこんだりして死亡したクジラや海鳥の映像。いまプラスチックごみによる海洋環境や生態系への悪影響に関するニュースが毎日のように報道されています。プラスチックごみは、私たちの日常生活から遠く離れた深海や北極海、南極海まで到達していることもわかっています。

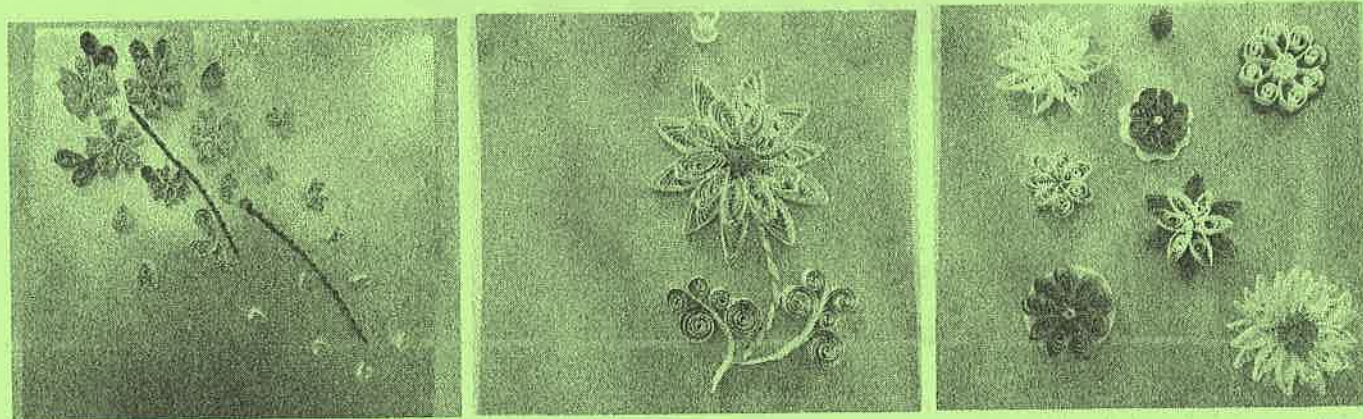
ポイ捨てなどで自然界に出てしまったプラスチックは、雨で流され最終的には海に流れ着きます。しかも、小さなプラスチックは、海の生き物が、えさと間違えて食べてしまうことがあります。海の生態系への影響が心配されています。



## ◆ 実演コーナー ペーパークイリング

家庭ある紙袋・包装紙・新聞・チラシ広告等を再利用し、細長くクルクルまいて、クリスマスのオーナメントやアクセサリーを作りました。

捨てるものを再利用してかわいらしく出来上がり、みなさんにとても喜んで頂きました。



杉田地区は令和元年度こんな活動をいたしました。

## 《7月》食肉市場センター施設見学

鶴見区の市中央卸売市場食肉市場「横浜食肉市場PR館」にて、隣接する食肉市場の機能や、牛や豚の肥育や消費者に届くまでの過程をパネルで説明を受けました。ハマモツのもつ鍋を、試食にいただきました。



## 《9月》悪質商法被害未然防止講座・大谷団地自治会館

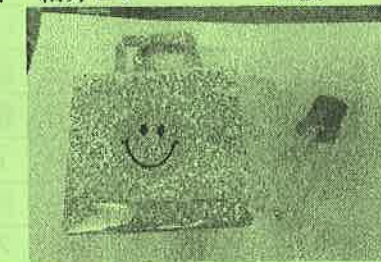
「地域の見守りネットワーク」に講師を依頼し、講座を開催しました。訪問購入(貴金属)の紙芝居をみて、〇×式のクイズ、替え歌をしました。不安をあおる話術、詐欺商法への注意、訪問購入の場合は許可業者の確認が大事であることを学びました。大勢の人に啓蒙活動ができました。

## 《9月》ジャムステック(海洋研究開発機構)施設見学

地元にある施設であり、地球環境変動の研究・海の観測深海生物の研究・海底資源の探索をしています。深海デブリ(ごみ)の展示を見学し、様々な深海デブリに驚きました。また、マイクロプラスチックと深海デブリについて、得トク生活フェスタのパネルにしました。

## 《11月》子育て世代への消費生活出前講座 親と子のつどいの広場「夢ひろば」

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 森口美加子氏に講師を依頼して、出前講座を開催しました。子育て世代が知っておきたい問題についてわかりやすく紙芝居で紹介があり、ひものついた子供服の危険性や、昼間目立ち、夜光子供服についてのお話や実験、フリマアプリのメリットやデメリットも勉強になりました。エコ工作の紹介とプレゼントをお渡ししました。



## 《12月》悪質商法被害未然防止講座・杉田地区センター

横浜市消費生活総合センター相談員による講演・最近の事例紹介 対応策・クーリングオフ等について、学びました。

悪質商法は手口が巧妙化しており、いま、どのような被害が多いのか、日々情報収集をし今後の活動に生かしたいと思います。

## 《1月》家庭でできる防災

横浜市発行の「防災よこはま」を参考に勉強会を開催しました。町内会ごとの災害への備えについて、また台風被害や地元の被災経験等意見交換の場ができました。

今後も継続的に、防災についても学ぶ場を作っていきたいと思います。

